

補 足 資 料
平成22年5月12日



平成22年3月期決算説明会

株式会社 鳥羽洋行

本プレゼンテーション中の将来の見通しにつきましては、当社の判断によるものであり、経済情勢、市場動向、税制や諸制度の変更等により、大きく変化しうるものであります。従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

当期のまとめ



【当社経営を取り巻く環境】

- 世界同時不況による設備投資需要後退から、売上高の大幅減少を余儀なくされました。
- 政府の総合経済対策や世界的な半導体需要回復により、当期後半以降、若干の薄日が差し込み始めました。
- しかし、昨年後半のドバイ・ショックや年明け以降のギリシャ財政問題等、依然として懸念材料がくすぶり、予断を許さない状況が続いております。

【当社施策の結果】

- 新エネルギー関連企業や三品業界等の新規取引先の開拓や、既存取引先の新しい部門・部署の開拓による新需要の創出に取り組みました。
 - ✓ 新規口座開設数：210超 (今後これらの取引先の取引拡大を目指す)
- 役員報酬を含めた人件費削減をはじめ、通信環境の見直しによる通信費の削減など、あらゆる経費の見直しを実施し、販管費を3億52百万円(対前期比)削減しました。

当期の状況



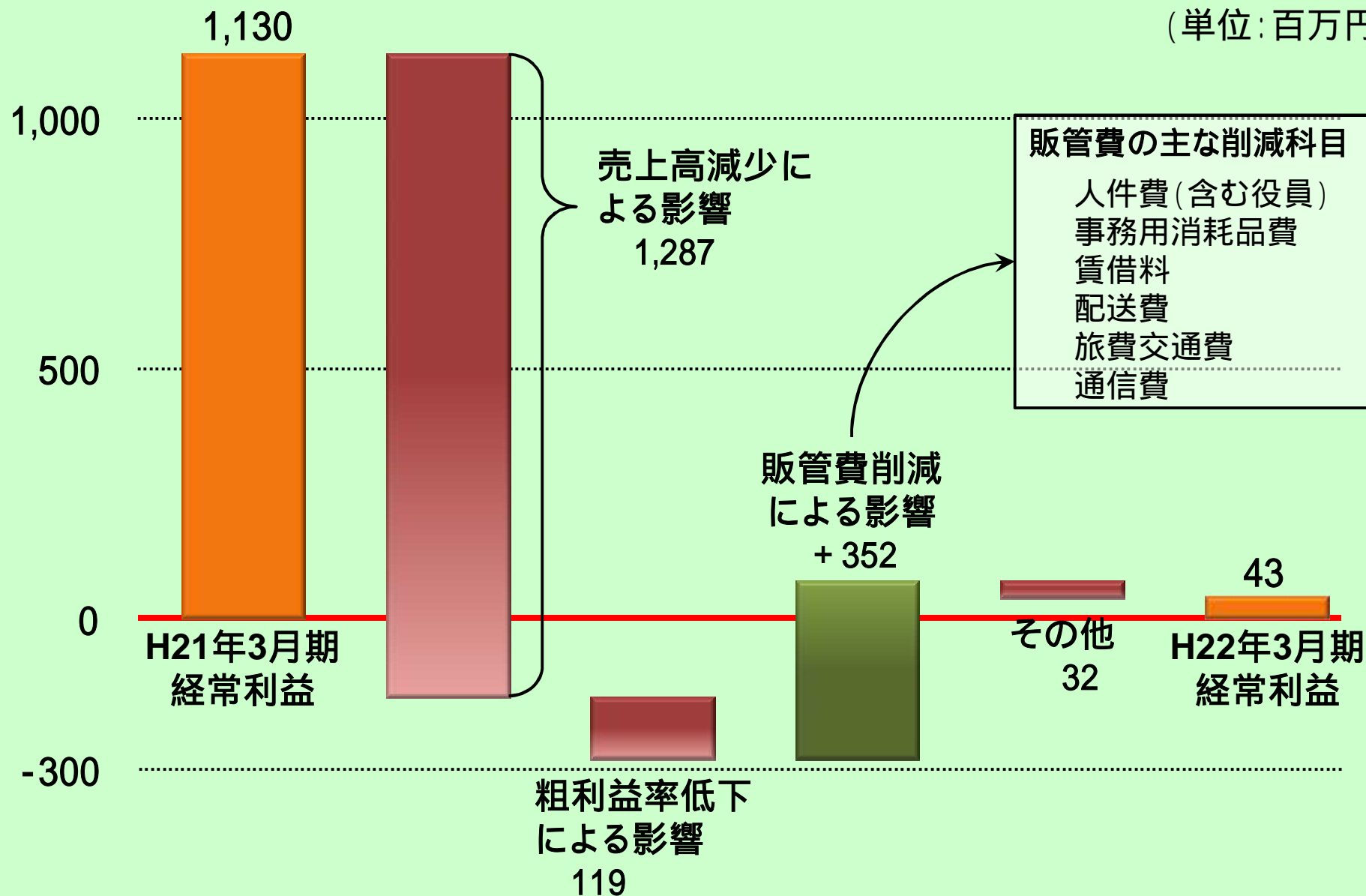
(単位:百万円)

	H21年3月期	H22年3月期	対前期比
売上高	19,489	11,438	41.3%
営業利益 (損失)	1,025	28	—
経常利益	1,130	43	96.1%
当期純利益 (損失)	643	36	—
売上総利益率	16.0	14.9	1.1
R O E	4.8	0.3	—

經常利益減少の要因分析



(単位:百万円)

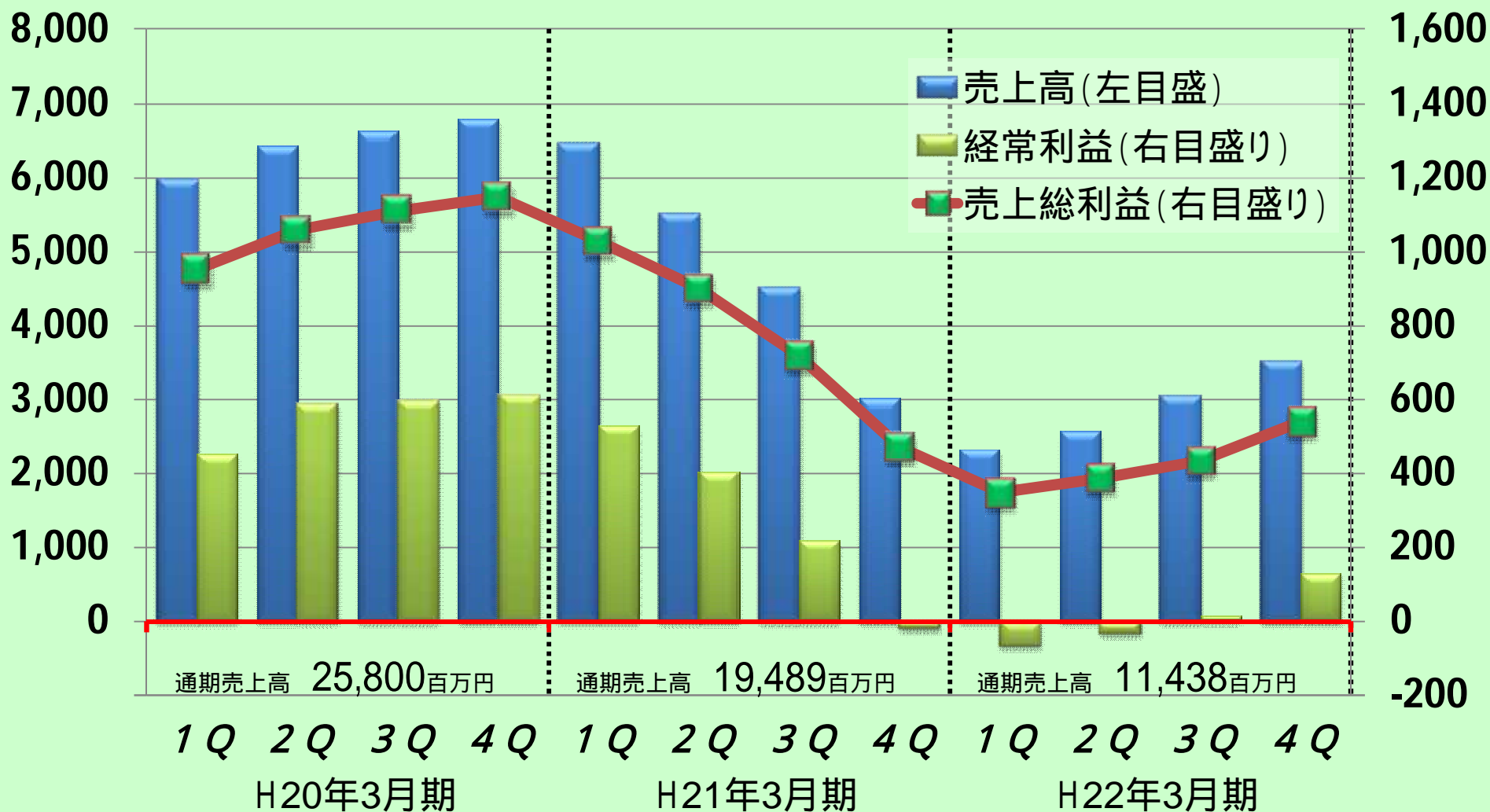


売上高・経常利益・売上総利益の推移



単位:百万円

単位:百万円



部門別売上高推移



単位:百万円

30,000

25,000

20,000

15,000

10,000

5,000

0

25,800

3,720

14.4%

11,379

44.1%

10,699

41.5%

H20年3月期

19,489

2,478

12.7%

9,793

50.3%

7,218

37.0%

H21年3月期

産業機器

F A 機器

制御機器

11,438

1,858

16.2%

4,616

40.4%

4,962

43.4%

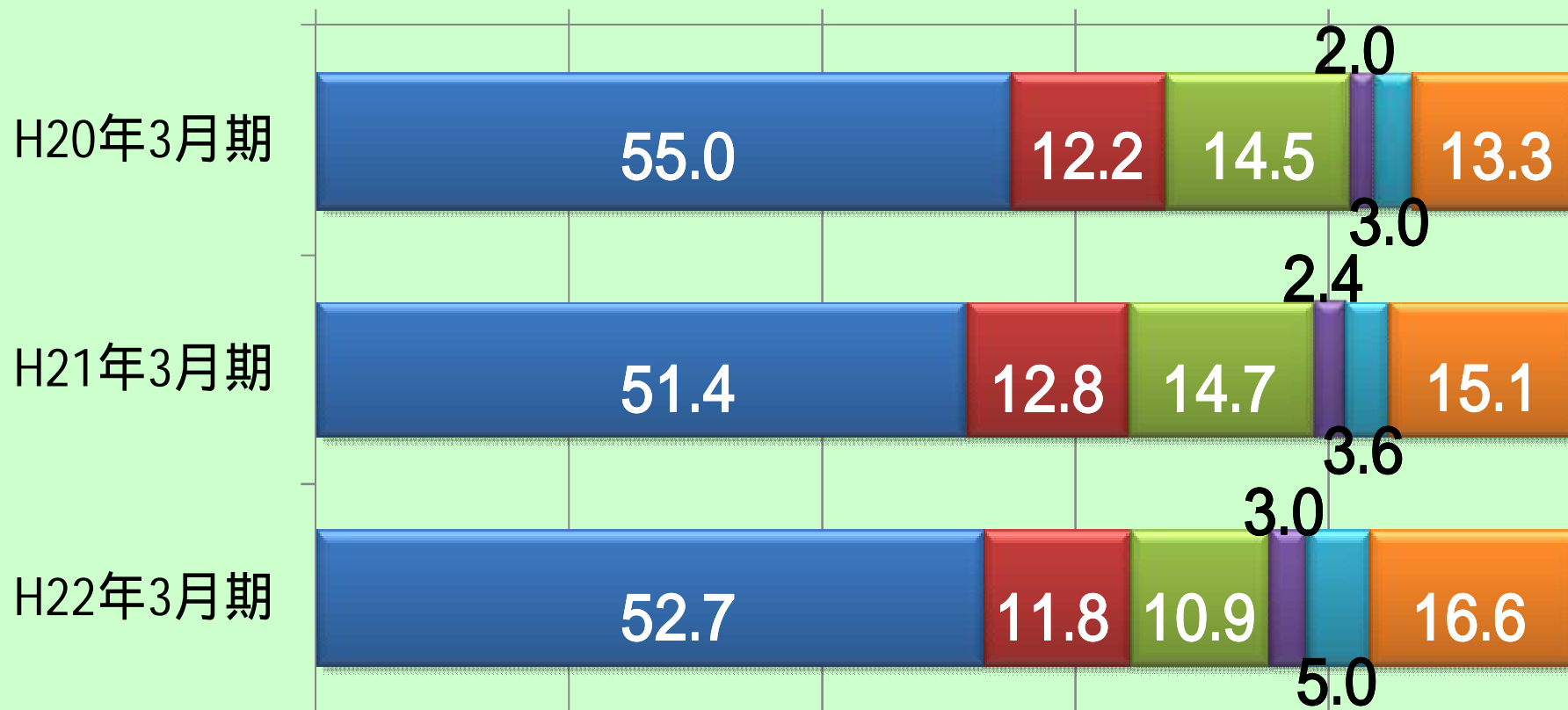
H22年3月期

業種別売上高占有率



単位：%

0 20 40 60 80 100



■ デジタル機器

■ 自動車・車載部品

■ 伝導・F A・精密

■ 医療等

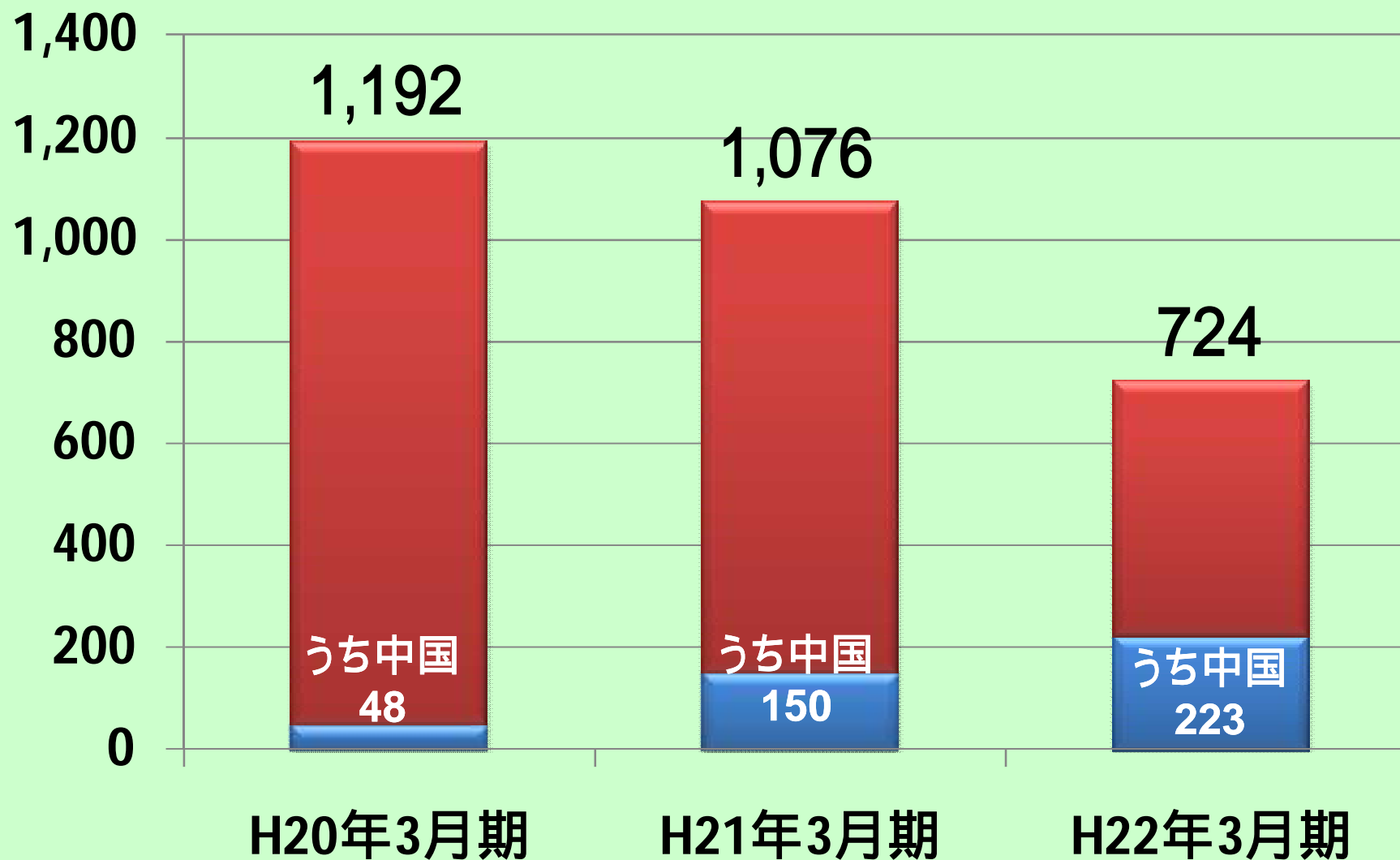
■ 環境・エネルギー機器

■ その他

海外部門の国別売上高



単位:百万円



海外部門の国別売上比率



単位：%



■ 中国

■ 香港

■ 台湾

■ シンガポール

■ アメリカ

■ イスラエル

■ 韓国

■ その他

財務内容等の状況



[キャッシュフローの推移]

(単位:百万円)

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期
営業活動による キャッシュフロー	33	2,094	943
投資活動による キャッシュフロー	1,014	466	292
財務活動による キャッシュフロー	504	964	335
現金及び現金同等物 の期末残高	5,002	5,665	6,566

今期の経営環境



【当社経営を取り巻く環境】

- 内外経済情勢は、一時の最悪期は脱し、緩やかな回復に向かっていると
思われます。
- しかし、原油価格の上昇傾向、ギリシャ財政問題、中国人民元の切り上げ
等、経済的な波乱材料が山積されております。
- 国内においても、個人消費の低迷、デフレの長期化懸念等、急激な景気好
転は望みにくく、厳しい状況が続くものと想定しております。
- 当社取引先からの受注状況も上昇傾向にはありますが、更なる増産体制
に向けた設備投資が本格化するか、まだまだ不透明な面があります。

今期業績予想



(単位:百万円)

	平成23年3月期(予想)		平成22年3月期 実績
	第2四半期累計期間	通期	
売上高	6,800	13,500	11,438
営業利益	100	200	28
経常利益	130	250	43
当期純利益	80	150	36
売上総利益率	—	15.0%	14.9%
1株当たり 配当金	—	30円	30円(予)

今期の経営方針



【営業部門】

- ▶ 大手企業グループの囲い込み
- ▶ 新エネルギー分野の拡大
- ▶ 三品業界(食品、医療・医薬品、化粧品)の開拓
- ▶ 環境・エコ商品拡販(CO2削減、電動化)
- ▶ 新規部署の横展開

Team TOBA

【管理部門】

- ▶ 経費削減策の継続
- ▶ コンプライアンスを基軸とした経営の実施
- ▶ リスク管理体制の強化
- ▶ IFRS適用に向けた準備



株式会社 鳥羽洋行

平成22年3月決算説明会

本プレゼンテーション中の将来の見通しにつきましては、当社の判断によるものであり、経済情勢、市場動向、税制や諸制度の変更等により、大きく変化しうるものであります。従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。